

令和 8 年度

子どものインフルエンザ予防接種 費用の一部を助成します

対象…生後6ヶ月から中学3年生で接種時、町に住民票があるお子さん

(平成23月年4月2日以降に生まれて、接種日当日生後6か月以上)



助成期間

令和8年10月 1日 から 令和 9年 2月28日まで

(ワクチンが十分効果をあらわす期間は、接種後約2週間から約5ヶ月とされており、インフルエンザの流行予防のためには10月下旬～12月中旬頃までに接種することが望ましいとされています。)



助成額

注射：一人1回の接種につき、2,000円を助成／2回まで

経鼻ワクチン（噴霧）：4,000円を助成／1回まで

(医療機関では、かかった費用から助成額を差し引いた料金をお支払いください。)



接種の手順

1.接種の予約

- ・医療機関に電話またはオンラインで診療時間を確認し、予約をとってください。
- ・予約の際に「山ノ内町在住」であることを伝えてください。

2.接種日付近になったら

- ・発熱や同居家族が発熱や感染症にかかった方がいる場合は、医療機関へ連絡してください。

3.接種時の持ち物

- ・住所、年齢等が確認できる書類（マイナ保険証、福祉医療受給者証等）
- ・母子健康手帳

4. 予診票の記入

- ・医療機関で提示される予診票を記入し、保護者同伴で接種を受けてください。



接種可能医療機関

右記 QR コードよりご確認ください。



医療機関により、接種できる年齢が異なりますのでご注意ください。

持病等の理由で上記以外の医療機関で接種を希望される場合は、接種前に下記までご相談ください。

健康被害への対応	子どもに対するインフルエンザ予防接種は任意接種です。健康被害が生じた場合は、「独立行政法人医薬品医療機器総合機構による医薬品副作用被害救済制度」が適用します。
注意事項	接種を受けるにあたり、必ず説明書（裏面）をよくお読みください。また、予防接種に関して気にかかることがありましたら、接種医にご相談ください。
接種回数	・注射：13歳未満の方は2回。（2回目の接種は1回目から2～4週間あけて行います。）13歳以上の方は原則1回（または医師の判断により2回）の接種を行います。 ・経鼻ワクチン（噴霧）：1回のみ（対象は2歳以上です。）

「インフルエンザの予防接種を受ける前に（説明書）」

予防接種を受ける前に、下記の説明をお読みください。予診票は接種をする医師にとって、予防接種の可否を決める大切な情報です。接種を受けるお子さんの保護者が責任をもって記入していただき、正しい情報を医師に伝えてください。

ワクチンの効果と副反応

- ① ワクチン接種により、インフルエンザの感染を予防し、たとえ感染しても症状が軽く済み重症化を予防することが期待されます。
- ② インフルエンザワクチンの副反応として、接種直後から数日中に過敏症：発疹、じんましん、紅斑、痒み等があわられることがあります。また、全身症状：発熱、悪寒、頭痛、倦怠感などや局所症状：発赤、腫れ、疼痛等 認めることがあります。通常2～3日中に消失します。

予防接種を受けることができない方

- ① 明らかに発熱のある方。（一般的に、体温が37.5度以上の場合を指します。）
- ② 重篤な急性疾患にかかっていることが明らかな方。
急性の病気で薬を飲む必要がある人は、その後の病気の変化がわからなくなる可能性もあるのでその日は接種を見合わせることを原則です。
- ③ インフルエンザ予防接種に含まれる成分によって、アナフィラキシーショック（※）をおこした既往歴のある方。
※「アナフィラキシー」というのは、通常30分以内に起こるひどいアレルギー反応のことです。
発汗、顔が急にはれる、全身にひどいじんましんが出る、吐き気、嘔吐（おうと）、声が出しにくい、息苦しいなどの症状が続く、血圧が下がっていく激しい全身反応です。
- ④ 以前、インフルエンザの予防接種後、2日以内に発熱、発疹、じんましんのアレルギーと思われる異常がみられた方。
- ⑤ 過去に免疫不全の診断がされている方。
- ⑥ その他、医師が不適当な状態と判断した場合。

予防接種を受けるにあたり、医師の相談が必要な方

- ① 心臓病、腎臓病、肝臓病や血液、その他慢性的な病気で治療を受けている方。
- ② 今までに、けいれんを起こしたことがある方。
（熱性けいれん最終発作から2～3か月間は接種不可。ただし、主治医の判断で短縮可。）
- ③ 今までに、喘息と診断されたことがある方。
- ④ インフルエンザ予防接種の成分又鶏卵、鶏肉、その他の鶏由来のものに対して、アレルギーがあると言われたことがある方。

予防接種を受けた後の注意点

- ① 予防接種を受けた後、24時間は副反応に注意しましょう。特に接種直後の30分間は、急な副反応（ショック、アナフィラキシー様症状）が起こることがあります。医師（医療機関）とすぐに連絡をとれるようにしておきましょう。
- ② 接種当日はいつもどおりの生活をしてかまいませんが、激しい運動は避けましょう。
- ③ 入浴は差し支えありませんが、注射した部位を強くすらないようにしましょう。

その他の注意事項

感染によって免疫状態が一時的に低下すると考えられている麻疹のようなウィルス性疾患では治癒後4週間程度、風疹・おたふくかぜ・水痘などの場合には治癒後2～4週間程度は予防接種を延期いただくことがあります。必ず、主治医と相談し、予防接種を再開してください。

経鼻ワクチン（噴霧）をご希望の方へ

鼻にスプレーして接種するワクチンです。弱めたインフルエンザウイルスを使用して、体内に免疫をつくる仕組みです。接種後1～2週間は乳児や重度の免疫不全の方との接触を可能な限り控えましょう。